

医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。



薩摩郡医師会在宅医療相談支援センターだより

ひまわり



第36号 令和4年12月
編集・発行 薩摩郡医師会在宅医療相談支援センター
TEL(代表) 0996-53-0326(内380)
(直通) 0996-53-4711(FAX兼用)

ケアマネ・カフェ

介護事業者における業務継続計画(BCP)について 2021年介護報酬改定 BCP: Business Continuity Plan (業務継続計画 以後BCP)策定義務化。

業務継続に向けた取組の強化、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、全ての介護サービス事業者を対象に、業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練(シミュレーション)の実施等を義務づける。(※3年の経過措置期間を設ける)

鹿児島県介護支援専門員協議会は令和4年5月に県研修会において介護支援専門員のためのBCPの研修をオンライン(Zoom)研修で行いました。薩摩郡地域の介護支援専門員の皆様もご参加いただいたでしょうか。静岡県介護支援専門員協会のBCP作成等を参考にまずは、取り組むことが必要と考えます。ポイントとして自然災害と感染症、入所系と通所系は考え方が異なる点があると思われます。また時間系列における対応も必要かと思われます。

以前、平成29年さつま町ひまわり館で地域包括支援センターさんと共同で介護支援専門員さんの研修、大規模地震について「災害対策机上訓練」を各フェーズ事、想定して研修を行いました。参加された方は思い出して頂けたでしょうか。BCPは、自然災害や感染症流行が起こる前の段階や平常時から取り組んでいることが重要です。また災害やパンデミック等感染症によって不足した資源を補う対策を検討しておく事、事業所全体、地域の現状を知り職員間で周知しておくことが必要と考えます。

今後も介護支援専門員協議会としてBCPの研修等を計画していきます。新型コロナ感染症第8波が懸念されますがオンライン等を利用して情報共有できたらと思われま

(厚生労働省老健局業務継続計画(BCP)作成支援指導養成研修 参照)
作成:鹿児島県介護支援専門員協議会川薩支部事務局 羽有春彦



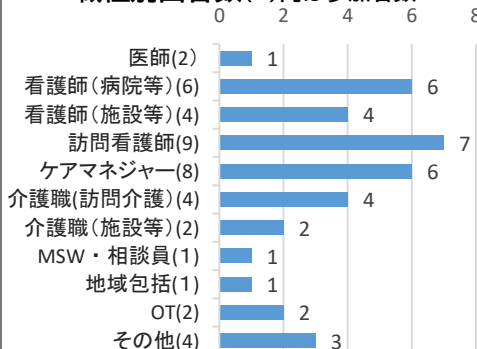
令和4年度第3回さつまネット研修会 「高齢者のスキンケア」(10/14)



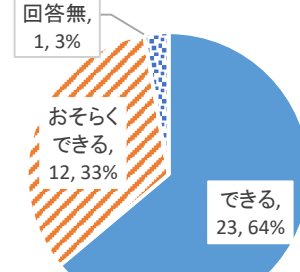
済生会川内病院
皮膚・排泄ケア認定看護師
神園 由佳 氏

令和4年度さつまネット研修会アンケート結果
参加者数: 会場 7名、オンライン 36名 合計 43名
アンケート回収数: 会場 6名、オンライン 30名 合計 36名 (回収率 83.7 %)

職種別回答数()内は参加者数



今後の業務に活かすことが出来ますか



ご意見・ご感想(一部ご紹介)

・褥瘡対策のみならずスキンケア対策についてとても解り易く説明して下さい、自分たちの日常生活におけるスキンケアにもすぐ実行できると感じました。高齢者のスキフレイルはあまり対策はないものと考えていましたが、日々の保湿がとても有効であることを改めて知り、今後様々な場面で伝えていきたいと思いました。
・保湿剤の剤形の特徴について全く知らなかったため、参考になりました。フォームを使用することが多く、保湿力が低いことがわかり、今後、観察していき、乾燥が強い時は変更が必要とわかりました。
・「スキンケア」の利用者様も良くいらっしゃいますが、保湿の大切さを実感しました。あと、背抜きなどのひと手間も大切であることも理解しました。介護されてるご家族にも教えてあげられたらいいと思いました。

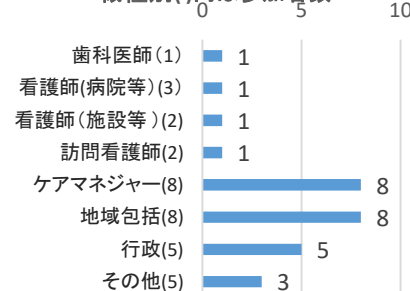
令和4年度第2回さつまネット研修会 「認知症の人の最期をささえる。そしてささえられる」(8/25)



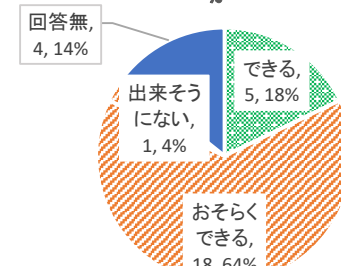
地域密着型複合ケアホーム
よかよかん
代表 坂井 明弘 氏

令和4年度さつまネット研修会アンケート結果
参加者数: 会場 12名、オンライン 26名 合計 38名
アンケート回収数: 会場 10名、オンライン 18名 合計 28名 (回収率 73.7 %)

職種別()内は参加者数



今後の業務に活かすことが出来ますか



ご意見・ご感想(一部ご紹介)

・認知症の方のターミナルケア難しいですね。施設職員がかかえることなく、各々の専門職が関わって、その人らしく看取ることが大切なことかなと思いました。
・認知症になると、その行動を問題行動と捉えたり、言葉として表現できない為に、私たちが上手く汲み取れないことも多いと思います。そのため、その人を知る為の普段の関わり方が重要になると感じました。なかなか難しいテーマでした。
・認知症の方の自律についてですが、信頼できる人(安心できる人)がいて、いつでも困ったら(分からなくなったら)相談ができ、不安感や孤独感を感じず、一人でマイペースに過ごせる人かなと思いました。(周辺症状がないことかなと思ったりしました)
・施設の方が、利用者に寄り添った関りをされていて、感銘を受けた。
・決められた援助の方法はないので、認知症の人と決めつけず、その日、その時々で状態が変わるが、その人の気持ちを確認しながら寄り添っていきたいです。

令和4年度第2回薩摩郡医師会在宅医療推進作業部会



令和4年10月28日(金)、薩摩郡医師会病院会議室に於いて、委員25名(オンライン3名、会場19名、欠席3名)の出席にて開催されました。看取り調査結果報告および在宅医療・介護提供状況調査結果に関する多くのご意見を頂きました。また、今後のさつまネット研修会についておよび多職種合同意見交換会について協議して頂きました。

令和4年度第1回川薩地区在宅医療推進リーダー会議



令和4年10月7日(金)川内看護専門学校会議室に於いて、委員30名(オンライン11名、会場19名、欠席4名)の出席にて開催されました。高齢者施設および障害者施設における看取り等の調査結果報告および在宅医療・介護提供状況調査の結果報告を行い、課題や今後の取り組みに関するご意見を頂きました。また、BCP(業務継続計画)の各事業所の取り組みについて事前調査を行いその結果について報告を行い、意見交換をして頂きました。

令和4年度第1回薩摩郡医師会在宅医療推進事業運営委員会



令和4年9月9日(金)委員8名の出席により開催致しました。上半期の活動報告および収支決算見込みの報告、令和5年度活動計画(案)予算計画(案)について承認されました。また、来年度作成予定の住民向け医療資源マップ作成についても承認されました。

【センターより】

今年も残す所僅かとなりました。皆様におかれましては、慌ただしい毎日を送られていることと存じます。今年は、感染症対策研修会を川薩合同で開催するなど新たな取り組みができました。さつまネット研修会も昨年よりさらに充実し、オンラインを導入したことで「研修会が参加しやすくなった」とのお声も多数頂いております。これもひとえに皆様方のご協力のお陰と感謝致しております。有難うございました。皆様にとりまして新しい年が良き1年となりますようにご祈念申し上げます。来年もどうぞよろしくお願いいたします。